

笑楽幸

土佐清水市立清水小学校
校長室便り 令和3年4月8日

入学・進級おめでとう

39名の新1年生のみなさん、217名の在校生のみなさん。入学・進級おめでとうございます。

令和3年度が始まりました。まだまだコロナ感染が拡大しており、安心安全ではありませんが、日々、感染症予防対策をとりながら元気に1年間生活していきましょう。

【始業式より】

《前段も省略》学校はたくさんのお子さんたちがいるから、楽しいこともたくさんありますが、当然いろいろな



ことが起きます。いやなこともあるでしょう。けんかもあるでしょう。トラブルも起きます。そんな友達とのいろいろなことを経験して学んでたくましく成長していくのも学校ですが、毎回同じ失敗を繰り返さないことも必要です。人が嫌がることや困るようなことをしないように周りのことをしっかり見て考えて行動できるようにしましょう。

今年の清水小学校の目標は、『鍛え 磨く』～心豊かでたくましい子どもの育成～です。

これまで日々学校で学び、鍛えてきたことを実際には、使ってきたし、より良いものにしようとして努力してきたと思いますが、今年は今まで以上に全員に輝いてほしいと思っています。そこで今年も4つのことを鍛え、磨いてほしいと思います。

まず、挨拶を鍛えて下さい。挨拶は心を届けるものです。朝の「おはようございます。」帰る時の「さよなら」を毎日、元気いっぱい声で言えるようになりましょう。

2つ目は、頭を鍛えること・・・学校は勉強するところです。毎日の勉強はしっかり取り組む。宿題もしっかりと取り組む。忘れ物はしないように準備をする。そしてノートもしっかりととれるようになってください。

3つ目は体を鍛えること・・・毎日元気に学校に来てほしいし、健康に過ごせる身体を作るように頑張りましょう。

4つ目は、心を鍛えること・・・友達に優しく、困っている友達がいたら、声をかけてほしいです。友達の悪い所を見つけるのではなく、いいところをたくさん見つけるようにしましょう。

そして今年『磨く』という言葉をつけ加えま

した。鍛えたならだしおしみなく、力を発揮してもっともっと鍛えましょう。今年の清水小学校はバージョンアップの年です。しっかり新しい清水小を創っていきましょう。

最後に最上級生の6年生には特に期待していません。一人ひとりが最上級生の自覚をしっかり持って、清水小学校をしっかりリードしてくれると信じています。小学校最後のこの1年は、これまでの5年間とは違います。あっという間に終わります。昨年のように、感染症の状況によってはたくさんの方の行事が中止になるかも知れません。しかしどんなことが起きようと、一日一日をしっかりと積み重ね、一人一人が、しっかり最上級生という自覚を持って、下級生の手本になってください。

清水小のいい伝統をしっかり、引き継ぎ、そして、君たちの力で新しい清水小をつくってください。《省略》

いろいろ言いましたが、一番の願いは、256人のお子さんと先生達全員が、毎日楽しく元気に学校に来て生活することです。楽しい学校を創るのは校長や先生ではありません。みなさんが主役になり清水小学校を創ってほしいと思います。

子ども達はしっかりと話を聞いてくれました。教育目標の4つの鍛えるも覚えてくれていました。本当に嬉しいことです。しかし今年『磨く』を入れました。職員会で話をしましたが、昨年度の学校評価の中で、保護者の方から「一部の児童が活躍している場面が多くあるのではないかと」、「子どもが主人公と言っても一部の子ども達しかみえてこない」などのご意見を頂きました。

清水の子ども達は良いところをたくさん持っているのに力を出し切れていないと言うことは私も感じていましたので、今年「子どもが主人公、全員が主人公」を目指したいと思います。活躍する場はそれぞれ違いますが、1年間生活する中で、一人ひとりが達成感を感じることができたらと思います。

保護者の皆様方には、今年1年清水小学校の取り組みにつきまして、より一層ご理解ご協力をお願いいたします。

◇◇新しい先生の紹介◇◇

着任式では、児童会より歓迎のあいさつがありました。新しい先生方と一緒に頑張りたいという思いが伝わってきました。始業式、入学式のあいさつもとても素晴らしかったです。

今年6名の新しい先生方を迎えましたのでお知らせいたします。

- 池本晃翔先生 (宿毛小学校より)
- 柿内 創先生 (宿毛小学校より)
- 松下泰将先生 (中村特別支援学校より)
- 北代可也先生 (足摺岬小学校より)
- 秋永友加里先生 (松田川小学校より)
- 谷口美香先生 (中村南小学校より)

今年度は34名の教職員で、子ども達と1年頑張りますので、よろしくお祈りいたします。